

第8章 自由回答の分析

これまで自由回答欄の分析は、分析者が内容を読み、主旨に即して意見をカテゴリー別に分類し、傾向を把握するにとどまっていた。しかしながら近年、テキストデータを計量的に分析するためのフリーソフトウェア「KH-Coder」がインターネット上で公開され、利用できるようになった。そこで、KH-Coderを部分的に使い、回答の傾向を分析することにした。

関心のある人権問題・取り組んでみたいこと（問18）

1. 頻出語から見える傾向

問18では「あなた自身が、関心をもっておられる人権問題や、特に取り組んでみたいということは、なんでしょうか。ご自由にお書きください」と問い、市民関心と持つ人権問題、取り組みたいことをきいた（啓発ニーズの把握）。244人の記入があり（「なし」「ありません」等は省く）、頻出語100をKH-Coderでリストにした（表1）。「差別」「人権」が多出しているほか、個別課題としては、「同和」「部落」「障害者」「子ども」が多い（なお、KH-Coderは代名詞や助詞は抽出しない）。

表1 Q18抽出語リスト

差別	105	高齢者	17	本当に	11	心	9	強制抽出した語*	使用しない語**
人	80	権利	16	介護	10	身体	9	人権問題	思う
問題	69	自分	16	解決	10	生きる	9	障害者	
人権	55	多い	16	外国人	10	男女	9	同和地区	
子供	39	感じる	15	環境	10	本人	9	同和問題	
社会	39	受ける	15	仕事	10	力	9	高齢者	
人権問題	37	女性	15	住む	10	会社	8	外国人	
言う	32	学校	14	出身	10	機会	8	私自身	
障害者	31	日本	14	親	10	気	8	人たち	
同和地区	28	取り組む	13	大切	10	施設	8	部落差別	
考える	27	地域	13	地区	10	私自身	8	大企業	
知る	27	奈良	13	働く	10	少ない	8		
持つ	26	理解	13	内容	10	侵害	8		
教育	23	違う	12	入れる	10	人々	8		
出来る	23	行政	12	立場	10	人たち	8		
障害	23	人間	12	意見	9	全く	8		
生活	23	同和問題	12	家庭	9	朝鮮	8		
必要	23	話	12	企業	9	被害	8		
部落	23	結婚	11	個人	9	部落差別	8		
関心	22	考え方	11	作る	9	聞く	8		
見る	21	子ども	11	参加	9	保護	8		
特に	21	出る	11	自由	9	アンケート	7		
今	20	小学校	11	主張	9	解消	7		
弱者	18	人達	11	情報	9	格差	7		
意識	17	同和	11	職場	9	学ぶ	7		

* 強制抽出とは、その語を一つのまとまりとして扱うこと。「外国」「人」で別々にではなく、「外国人」としたほうが、回答者の関心が見えやすい。

**「思う」のような一般的な言葉は、どのような文章にも使われ、最も多く出現するが(121あった)あまり意味がないので、カウントから外した。

2. 個別課題に対する意見

さらに、人権上の個別課題に対する回答者の関心のありようを見るために、「子ども（子

供」は「子ども」として扱う)」「障害者」「高齢者」「女性」「外国人」「同和 OR 部落」を検索し、それぞれの語を含む文章を抜き出し（一文だけでは意味が通らない場合、前後の文も抜き出した）、年齢・性別とともに一覧にした（各表は、年齢順にソートしてある）。なお、「同和」（同和地区、同和問題、同和）という言葉の出現数（51）が「部落」（31）よりかなり多いので、傾向に違いがあるかを見るために、「同和」を含む回答と、「部落」を含む回答は、別々の表にした。

2-1 こども（Q18）

「子ども」「子供」を含むコメントから、子どもの人権課題に関わらない意見を除外すると（例：自分が子どものころを回想した記述は省いた。また、「部落問題を子どもに教えないほうがよい」といった意見は「部落」のほうに区分した）、表2の通り、24人の記入があった（女性19、男性5で、女性の記述が多い）。

- ・内容は、子どもの権利、障害のある子ども、教育、いじめ・虐待、貧困、ひとり親家庭支援、学歴主義批判などにわたっており、「子どもにとって、暮らしやすい社会」を願う視点からの記入が大半である。

- ・他方、「少子化施策が、独身者や子どもをもたない・もてない人への圧力」になっている（女性・30歳代）という意見は、子どもに対する政策が、女性には圧力となる、という指摘として注意をひく。

- ・同様に、「子供ばかり優遇されている・・・給付金も子供ばかり、もっと高齢者・障害者も優遇してほしい」（女性・50歳代）は、子ども施策を「優遇」だと批判する意見として注意をひく。

表2 子ども（Q18）

子どもの自殺問題、虐待（子どもに）。	女性	20歳代
子供同士の付き合いがはじまっており、どこかどうい子なのかは気になるものの、深く介入しすぎるものでもない気がして、今後どうしていくべきか考えている。	女性	30歳代
女性保育士の立場から子供の人権問題には関心を持っていたいと思います。	女性	30歳代
子供の人権について(貧困・教育・いじめなど)。	女性	30歳代
子供の事に関して。	女性	30歳代
少子化問題といいながら、独身者や子どもをもたない（もてない）人の人権を侵害するようなことを行政も含む社会が行なっている！.../結婚や出産は個人の自由	女性	30歳代
子供の人権、権利です。！.../どうしても大人が圧力でおさえたりコントロールしたり！.../子供の権利を奪っていると思います。子供がのびのびと遊べる環境、公園、ボール遊びができる所など、子供が大きく成長できるようにしてほしい。	女性	40歳代
子供が知的障害児です。今後社会の中で弱者として生きていくことになるのか、彼等なりのがんばりを評価出来る社会になっていけるか。	女性	40歳代
弱者の味方であるという事が一番大切である(一番難しくもある)。少なくとも自分の子供はそうであってくれるよう教えてきたつもりだ。	女性	40歳代

子供が安心してくらせる社会。	女性	40 歳代
父子・母子家庭は所得世帯の子供に対する教育支援。	男性	40 歳代
個人営業の教室等を手伝っていますが、/.../オーナーの独断で中国人朝鮮人の差別意識が多少あり、学歴至上主義で「社会がそうになっている以上、その中に子供らを入れないと損をする」と考えている。	男性	50 歳代
子供ばかり優遇されているように思います。給付金等も子供ばかり、もっと高齢者・障害者にも優遇してほしい	女性	50 歳代
子供の人権を守って欲しい。小さくても話すことで伝わるので小さい頃から一人の人間として扱って欲しいそうすれば子供も立派な大人になると思う。	女性	50 歳代
関心があるのは、子供の貧困、女性の貧困。	女性	50 歳代
学校での子どもの人権問題、特に義務教育、公立学校での子どもの人権擁護。平準化されているために、少数派の子ども、つまり、LGBT、低学力/高学力、集団行動が苦手な子どもなどの人権が守られにくい。	女性	50 歳代
TV番組で人のバカさを笑いものにしたリ、「死ね」といった発言があり、怒りを感じる。子どもたちの人権意識が低くなる。	男性	50 歳代
子供の学習力を取り上げないで欲しいです。子供らしくのびのびとした学習が出来る様に願います、	女性	60 歳代
子供虐待防止など弱い立場の子供を守るシステムに興味あります。ネグレクトや自分中心的親が多く子供が犠牲になるのが気になります。	女性	60 歳代
人権に関心を持ち大きく知り、許し、許しあえる気持ちを育む教育、小さい子供の頃から育んでいく教育	女性	70 歳以上
私自身、子供の頃から身体の欠陥で、いじめや差別に合ってたので身体に障害のある方（特に子供）を、優しく見守ってやれる社会になればよいと思っています	女性	70 歳以上
子供に同和・人権と話をすることは寝ている子を起こす様な感じもする。	男性	70 歳以上
地域での人権学習、・障害者の雇用、・いじめ問題（子ども、高齢者、弱者、その他の人）。	男性	70 歳以上
家庭（昔は）で（同居）で家庭の中に縦のつながり（年齢）が有り/.../今は核家族、仕付けられる環境を受けていない親の共で親の背のみ見ている子供、色々な事件に思う。	女性	70 歳以上

記述した人の総数 24 人
女性 19 人
男性 5 人

2-2 障害者（Q18）

「障害者」「障害者」「障害」を含む意見を記入していたのは 43 人（女性 31, 男性 12）である。女性が多い。

- ・ 内容は、就労に関するコメント（6）、教育・啓発に関するコメント（6）がまとまっており、「障害者が、暮らしやすい社会」を願う視点からの関心を記述したものが大半である。
- ・ 他方、「障害があるからと、それを、支援や援助、助けを受けて当然だという理由にするのは間違っている」（女性・20 歳代）という記述は、支援や合理的配慮に対する消極的意見、もしくは、障害当事者に「自助努力」を求める意見ともとれ、注意をひく。その一方で、「障害者や低所得者、高齢者など社会的弱者のためになるような団体があれば援助したり参加したい」（男性・40 歳代）といった、積極的意見もある。

表 3 障害者(Q18)

身体障害者が、行動しやすい街作りを実現して欲しい。	男性	20 歳代
障害を持つ方達に対して、バリアフリーや多くの取り組みがなされているが.../結果的になおざりにされているという事があると思います。障害があるからと、それを、支援や援助、助けを受けて当然だという理由にするのは間違っていると思いますが、国としての理解や形だけ法律を作れば良いと思っている様に見える事が多いのは残念です。	女性	20 歳代
障害について。生まれ持った障害や後天的な障害、人が生涯五体満足でいられる保障はないのに、バリアフリーが特別なこととして取り組まれていることに疑問を感じる。	女性	20 歳代
障害者なども不自由なく平等に過ごせる社会へ。	女性	30 歳代
障害者人権問題	女性	30 歳代
私自身が精神障害、発達障害を持っています。就職活動をしていく中において、これらの障害をふまえて受け入れていただける企業が増えていけば良いと思います。	男性	30 歳代
医療ケア児、障害児が小学校、中学校義務教育を受けることができる。環境作りと体制。	女性	30 歳代
冤罪被害者が出ています.../外国籍の方、障害者の方、あらゆる方の身に振りかかる可能性がある。新しい形の「人権傷害」ではないでしょうか	女性	40 歳代
障害者がもっと働きやすい社会になること、医療や福祉にもっと力を入れてほしい	女性	40 歳代
男性であれ、女性であれ、障害者であれ、働きたいと思っている中、弱者的立場の人に合わせた環境作りをすれば大体の人にとって働きやすく住みやすい状況を作れる事が出来ると予想出来る	女性	40 歳代
住んでいる地域のあらゆる障害者へのとぎれない生涯にわたる支援。	女性	40 歳代
障害者差別解消法の合理的配慮について(発達障害)に関心があります。。発達障害には個人差が大きく“これだけすれば大丈夫”というようなわかりやすい内容ではないと思います	女性	40 歳代
子供が知的障害児です。今後社会の中で弱者として生きていくことになるのか、彼等なりのがんばりを評価出来る社会になっていけるか	女性	40 歳代
障害のある人がもっと同じ職場で働けるようになってほしい	女性	40 歳代
子供ばかり優遇されているように思います。給付金等も子供ばかり、もっと高齢者・障害者も優遇してほしい。	女性	50 歳代
私自身が女性なので、介護にしる障害者のサポートにしる、男性のケアには抵抗がある。	女性	50 歳代
障害者福祉施設でくらしおられる方の高齢化問題。	女性	50 歳代
障害者として見るのではなく、障害の壁がそこにあるということを認識して障害でない障害でないような状況がある社会を作る。	女性	50 歳代
人権問題は部落と障害者などいろいろ事情が違うのでそれぞれ別々に考える必要がある。	女性	50 歳代
人権問題といっても多岐にわたり（部落・男女・婚姻・格差・障害・同性愛など）、一括りに人権はどうのこうの言うのは危険である	男性	50 歳代
障害のある人の社会参加。◇精神障害のある人も会社の採用で受け入れられるように国の法律が改正された。	女性	50 歳代
高齢者や障害者に関する問題	女性	60 歳代
障害者に対する教育の充実(思いやり、優しさ)を学校特に幼児教育の段階で実施出来る様な環境作りの推進・	男性	60 歳代
障害者に配慮が出来る社会の実現。	男性	60 歳代
人種差別、障害者差別、部落差別、財産収入差別、生命を受けた時から、本人の意思に関係なく今の境遇にありこれを全て平等にしようとする事は無理である.../何らかの公的手段をもって、弱者を救済する施策が必要だ。	男性	60 歳代

貧困による人権差別、障害者に対する差別。	男性	60 歳代
働きたい障害者に働ける場所がもっとあればよいと思う。身体障害者が外に出やすい環境をつくったらいいと思う	女性	60 歳代
障害者問題、老人者の差別問題。	女性	60 歳代
孫が精神的に障害を持っているので、周りから見分かって貰えない所があると思うので、本人もつらい面もあるのでは、ないかと思います。	女性	60 歳代
障害を持つ人々に理解を持ち思いやりや助け合いの気持ちを持って一緒に共生出来る社会を作る為に啓発に力を入れて行く必要があると思う。	女性	60 歳代
障害者の世間に対する目(待遇)。	女性	70 歳以上
地理的条件と高齢者加えて障害者に対する対応が、今後大切と思われる。	男性	70 歳以上
障害者差別について、・民族差別について、高齢者問題について	男性	70 歳以上
障害者、外国人への配慮が今後より必要となると思う。	男性	70 歳以上
障害者差別、・人権差別 (同和教育)	女性	70 歳以上
障害者や認知症の人の手助けができればよいと思う。	女性	70 歳以上
障害者 (精神も含め)、弱者への差別がなくなればみんなが心を少しでも明るい方に向いていくのではと思います	女性	70 歳以上
私自身、子供の頃から身体の欠陥で、いじめや差別に合ってきたので身体に障害のある方 (特に子供) を、優しく見守ってやれる社会になればよいと思っています。	女性	70 歳以上
障害に関する理解を広げる運動、研修等を進める	男性	70 歳以上
地域での人権学習、・障害者の雇用、・いじめ問題 (子ども、高齢者、弱者、その他の人)	男性	70 歳以上
父親が身体障害であった。でも父はしっかり働き、兄弟 3 人を進学させてくれた。私にとって父はとっても立派な人間であったと思っています。	女性	70 歳以上
人権問題は外国人や障害者など、特別な特徴のある人達だけの問題ではありません。	女性	年齢 NA
もっと高齢者・障害者にも優遇してほしい。ある障害者施設の方が制度が変わった時に”オレらみたいな役に立たないものは早よ死ねと言う	女性	50 歳代

記述した人の総数 43 人
女性 31 人
男性 13 人

2-3 高齢者 (Q 18)

「高齢者」「高齢」を含むコメントのうち、高齢者に関わる諸課題に触れたコメント(自分が高齢であることを述べているにとどまるコメント 3 は除いた)は 12 あった。(女 3, 男性 7, 性別 NA2)。うち、60 歳代以上によるコメントは 8、30 歳代以下の書き込みはない。

・内容は、「介護」「認知症」「就労」「アパート入居の困難」「独居による生活上の困難」「いじめ」など、「高齢者が暮らしやすい社会」を求める切実な記入が大半を占める。また、「無料の介護講座」への参加希望 (性別 NA・40 歳代) は、家族親族など身近な高齢者に接する人からの声である。

表 4 高齢者(Q18)

障害者や低所得者、高齢者など社会的弱者のためになるような団体があれば援助したり参加したい	男性	40 歳代
--	----	-------

高齢者介護、認知症	男性	50 歳代
子供ばかり優遇されているように思います。給付金等も子供ばかり、もっと高齢者・障害者にも優遇してほしい	女性	50 歳代
高齢者や障害者に関する問題	女性	60 歳代
年齢的制限に伴う職業選択及び就労に関する事、高齢化社会となる昨今高齢者であっても就労できる機会が必要と思われる。	男性	60 歳代
政府の弱者（高齢者・年少者）へのいじめ解消	男性	60 歳代
若者と老人との関係	男性	60 歳代
地域での人権学習、障害者の雇用、いじめ問題（子ども、高齢者、弱者、その他の人）	男性	70 歳以上
地理的条件と高齢者加えて障害者に対する対応が、今後大切と思われる	男性	70 歳以上
障害者差別について、・民族差別について、・高齢者問題について	男性	70 歳以上
私の両親が高齢者であった為、アパート等が借りられなかったこと。家があっても山間地方に住んでる方は深刻な問題だと思います。	女性	70 歳以上
高齢者で一人暮らしの方が増えており大きな自宅で掃除等ままならない事が多く、子供達とも離れており・・・そんな方が沢山おられる。	性別 NA	70 歳以上
高齢者に対する人権は、身近に身内の高齢者がいるので関心がある。無料で参加できる介護講座などがあれば参加したく思う。	性別 NA	40 歳代

記述した人の総数 13 人
女性 3 人
男性 8 人
性別 NA 2 人

2-4 女性 (Q18)

「女性」を含むコメントは 11(女性 9, 男性 2)。

・内容については、労働にかかわる書き込み(「妊娠したら立場が弱くなる」「公務員管理職の比率」「働きやすい社会・環境」等)が 4 ありまとまっている。そのほか、家庭内での暴言・DV、女性の貧困などが具体的にあがっている。

表 5 女性(Q18)

女性の権利についての世間の皆様の意識。	女性	30 歳代
女性保育士という立場から、男女差別、子供の人権問題には関心を持っていたいと思います。	女性	30 歳代
女性だからと言って職場で自分のスキルアップのチャンスを逃したり、妊娠したら立場が弱くなったりとまだまだ女性進出は難しい。大手企業も表向きはよいが、裏は変わらない。	女性	30 歳代
少子高齢化社会に向けて女性の活躍に着目しています。女性蔑視がなくなるよう差別が少なくなることを心掛けていきたい	男性	40 歳代

社会において男女平等と言いながら男性ばかり女性ばかり(ママ)が働きやすい状態となっている!.../男性であれ、女性であれ、障害者であれ、働きたいと思っている中の弱者的立場の人に合わせた環境作りをすれば大体の人にとって働きやすく住みやすい状況を作る事が出来ると予想出来るので、そうすれば良いと思います。	女性	40 歳代
女性差別、あらゆる場で自身も受けている。男性の意識の低さに驚くことが多い家庭内でも起こりうることである。	女性	50 歳代
関心があるのは、子供の貧困、女性の貧困。私自身が女性なので、介護にしる障害者のサポートにしる、男性のケアには抵抗がある。	女性	50 歳代
差別というものは、私自身の経験から、昭和初期生まれの親からの影響が大きく部落差別、女性軽視などごく当たり前のようによく教育されてきました。また結婚した相手からの暴言などまるで単なる夫婦げんかとしてしか受けとめてもらえず結局、DV被害者はだまらざるをえない状況が多いのではないのでしょうか。	女性	50 歳代
女性の登用、公務員は男女比率を 50 対 50 にすべきだと思う、公務員管理職の男女比率についても 50 対 50 にすべきだと思う。	男性	60 歳代
女性に対する差別が日本には根深く残っているように思います。人々の意識の底を改革するには幼児から教育することが大切だと思います。料理も家事も小さい頃から人として必要だと教えたいと思います。	女性	60 歳代
家庭をもっている女性も働ける社会になるにはどうなると良いか考えてみたい。	女性	60 歳代

記述した人の総数 11 人
女性 9 人
男性 2 人

2-5 外国人 (Q 18)

「外国人」「在日」「朝鮮」「韓国」「中国」を含むコメントは 18 あった(女性 6, 男性 11, 性別 NA1)。

・内容は、ヘイトスピーチの問題 (2)、外国人労働者・技能実習生に関わること (2)、入管に関わること (2) のほか、ネット上への書き込みの問題、外国人母子家庭に対する差別、実際に見聞きした差別などが問題提起されているほか、国際交流への参加希望や、多言語情報 (の重要性を指摘したかったものか?) などがあった。

・一方、従軍慰安婦や、領土・安全保障問題に触れ、在日コリアンに対する否定的感情 (いわゆる嫌韓) を記した意見 (2) や、「通名使用によって、外国人の犯罪が日本人のように報道される」といった“ねじれた”意見もあり、近年のヘイトスピーチの内容とも重なることが注意をひく。

表 6 外国人(Q18)

在日朝鮮人に関する人権問題は、大阪でヘイトスピーチに関する条例が策定されたことや、大学の講義で取り上げられたこともあり、関心がある。朝鮮人差別というと神戸や大	男性	20 歳代
---	----	-------

阪など、人口集中地がイメージされるが、奈良県ではそのような問題があるのか興味関心がある。		
多文化共生（外国人住民に対する多言語での生活情報の提供）、外国人技能実習生制度の問題。	男性	30 歳代
必ずしも、差別される理由のない人が悪で、差別される理由がある人だと考える人が善ではないと思う。/.../私は、人を見てつき合いをしている。尊敬できたり、合えば、外国人であろうが同和地区出身だろうが、おつき合いしている。	女性	40 歳代
外国人の方も、活躍できる会社が良いと思います。	女性	40 歳代
同和地区や在日朝鮮人についていまだにネットに書きこみしてる方もいるが、見る方もどう思って閲覧しているのか不思議。ただ、その弱い立場を利用している人が居ることも事実で、結局は個人の意識だったり人となりだったりするように思う。	女性	40 歳代
関心を持っている人権問題としては、在日韓国人の方に対するヘイトスピーチに関心があります。理由としては、公道で過激なスピーチを行う意識と理念が自分では全く理解できないからです。言論・思想の自由は重要であり、尊重すべき点ですが、想像力が欠如した恥ずべき行為だと感じています。	男性	40 歳代
日本に住んでおられる外国人、特に日本国籍を持たない母子家庭に対する差別が、住居、電話（ケータイ）、保険契約などであるという事を、知り合いから聞きました。各企業は、規則を、もう1度人種差別に関して、改正して頂きたいと思います。	女性	50 歳代
同和教育をたくさん受けたので、大人になってからも関心がある。韓国ドラマが好きなので、在日の人も気になる。	女性	50 歳代
”人権”の名を借りた偏向報道があまりにも多く、又”人権”の名を借りた在日朝鮮人による活動で多大な迷惑を被ることを何度となく経験し、嫌悪感を極度も持っています。朝鮮の民族問題を日本に持ち込み、あたかも日本を露骨に利用するという態度に憤りを覚えます。領土問題や安全保障問題等最近の日本に対する韓国報道には常軌を逸するものを感じており、極度の不安を覚えます。	男性	50 歳代
韓国や中国では反日感情が高いようだが、個人レベルではそのようなことはないはずである。実際韓国に旅行に行った時はあまり反日を感じなかった。国際交流の場があれば積極的に参加したい。	男性	50 歳代
個人営業の教室等を手伝っていますが、その教室はオーナーの独断で中国人朝鮮人の差別意識が多少あり、学歴至上主義で「社会がそうなっている以上、その中に子供らを入れないと損をする(子供らが)」と考えている。	男性	50 歳代
在日韓国、朝鮮人に対する入管特例。	男性	50 歳代
入管、外国人労働者の問題	男性	60 歳代
外国人との共存(在中2世3世を含む)	男性	60 歳代
障害者、外国人への配慮が今後より必要となると思う。	男性	70 歳以上

私は差別しない主義だが北朝鮮の脅威や韓国による従軍慰安婦像をあちこちに設置するなど日本をきらう朝鮮が好きになれない。日本は世界中の人々に好感をもたれているのに。	男性	70 歳以上
人権問題は外国人や障害者など、特別な特徴のある人達だけの問題ではありません。	女性	年齢 NA
通明（ママ）の使用について（外国人が犯罪を犯した時、あたかも日本人の様に報道される）	性別 NA	年齢 NA

記述した人の総数 18 人
女性 6 人
男性 11 人
性別 NA 1 人

2-6 同和問題（Q18）

まず、「同和地区」「同和問題」「同和」を含むコメントは 42（女性 21、男性 17、性別 NA4）あった。

- ・内容は、「差別を理由に優遇されている、同和対策事業は特権である」といった意見（6）、「知らなければ差別はなくなる」とか、啓発等が「関心をほじくりだしている」など、部落問題を教え、伝えることに反対する意見（5）がまとまっている。
- ・また、「知らない」「わからない」「現状はどうなのか」のように、実態をよく知らないことを示すコメントが 20-30 歳代に 3 件あった。

一方、「部落」を含むコメントは 17（女性 10、男性 5、性別 NA2）ある。

- ・なお、「取り上げることで差別が起きる」「取り立てて言いすぎ」など、部落問題を教えることに疑問を呈する意見（3）、「公務員になりやすい」「行政の給付、助成を独り占め」「優遇されている」など、“優遇”を批判する意見（3）、「攻撃的」などのマイナスイメージ（2）、他地方の出身者であるが結婚で来県して部落問題を知ったという意見（2）、などがまとまっている。

なお、「同和」「部落」とも女性の書き込みのほうが多いことは注意をひく。またいずれの場合も、「行政施策による優遇」を理由にした批判的意見、「教え伝えることへの批判的意見」がまとまっている。

表 7 同和(Q18)

差別とか人権問題があまり身近ではない。同和地区についても知らなかった。	女性	20 歳代
同和問題というのがよく分からない。	男性	20 歳代
同和地区の現状はどうなのか	女性	30 歳代
結局は親の思考がしみついているのではないか。同和地区出身、男女差のない北欧のような社会。指定地区をなくす。	女性	30 歳代
同和地区問題	男性	30 歳代

同和地区問題。そこに住まう人々を差別する気はないが現実問題として就職で差別を受けることがある以上、どうしても子どもの結婚相手には選んで欲しくないと思ってしまう。	女性	30 歳代
同和利権をどうにかして欲しいです。/.../いつまでも差別された！。という事をネタに色々な優遇を受けるのはどうかしていると感じる。差別が無くなって困るのは同和地区の人ではないですか？。/.../取り組みたいことなど特にはないですが、もう少しクリーンで正しく使われる税金であれば良い	女性	30 歳代
小学校でなぜ「同和地区」という言葉を教えなくなったのか不思議に思っている。	女性	40 歳代
同和地区と云う地区が存在するならば地区そのものを無くせば良いと思う。	女性	40 歳代
同和地区や在日朝鮮人についていまだにネットに書きこみしてる方もいるが、見る方もどう思っけて閲覧しているのか不思議	女性	40 歳代
尊敬できたり、合えば、外国人であろうが同和地区出身だろうが、おつき合いしている。人権問題は、されると考える人の歩み寄りも大事だ。そして、特別扱いをしないことだと思う。	女性	40 歳代
同和地区の方と交流を持つ期会をつくられている地域があるが、必要なのか/.../不自然に思う。/.../部落問題は小学校で聞かない限り、知らないように思うので特に話す問題ではないように思います	男性	40 歳代
同和問題は解決すべき問題だが、市職員の事件もあったように、逆差別の意識も強い、そちらにも公平にメスを入れるべきだ。	男性	40 歳代
同和等その他の問題も含めて社会全体の今後の方向が気になります。	女性	40 歳代
非常にみにくいものを感じる、何度も何度も同和というのはどうかと思う。	男性	40 歳代
同和地区問題について関心がある。私の周りでは同和地区出身者と結婚した人がいます。親も親戚もその事を知った時迷うことなく受け入れました。色々言ってきたのは赤の他人たちでした。	女性	50 歳代
同和地区は優遇されすぎていると思う（税金の面で）	女性	50 歳代
私の故郷(四国)でも同和問題に関する人権授業を小学校で受けました。/.../私の両親や祖父母は直接そのような地区の方々と知り合う機会が減多にないにもかかわらず、/.../先入観や偏見をもっていたように思います。学校で教わった内容と家族が口にするステレオタイプにとらわれた考えとの矛盾に、子供心に混乱しました。	女性	50 歳代
同和教育をたくさん受けたので、大人になってからも関心がある。	女性	50 歳代
私は小学校の高学年頃から同和教育について学びました。そして中学になればもっと勉強しました。授業にあったからです。小学校で初めて知って意識したのです。だから子供の時に学ぶことがとても大切だと思います。中学生で友達にもなれました。今でも続いています。大切な友達です。	女性	50 歳代
人権問題は部落と障害者などいろいろ事情が違うのでそれぞれ別々に考える必要がある。部落の住宅や税金軽減は必要ないと思う。同和という言葉はなくせばいい。	女性	50 歳代
同和地区の解消(日本人すべての人が同和地区を意識しなくなる世界に)。	男性	60 歳代

私自身同和地区に隣接地域出身で子供の頃教育を受け、問題意識を有していると同時に教育と言う事問題意識を有していると同時に教育と言う事で集団で押しかけられていた人々を見た事も有った。我々世代がいなくなり、世代交代すれば自然解消的に無くなると思うので、知らない人にまで問題意識を持つところまで教育の下で知らしめるのは私はあまり賛成できません。	男性	60 歳代
近隣には同和地区がある。同級生にも同和地区出身者が多数いる。あまり意識して付き合った事がない。	男性	60 歳代
就職時の差別（同和地区出身者）。	男性	60 歳代
今の若い人達はまず同和問題はあまり知らない、	女性	60 歳代
同和問題	男性	60 歳代
同和問題の特権をなくすべき。市職員のモラル等があげられるべきで毅然とした態度でのぞむべきだとおもう。	男性	60 歳代
同和問題、なくならないと思いますが。	女性	60 歳代
今でも同和地区について考えてみる。	女性	70 歳以上
同和問題についても大人が騒ぎすぎる。生まれた時から問題を知らなければ 30 年もすると差別はなくなる	男性	70 歳以上
同和問題、真実を述べた本にお見にかかった事がない。もちろんいろんな制約があって書けないわけだがそれでは事実を知る事ができないからずっと闇のままだと思う。	男性	70 歳以上
同和問題、国籍問題、知的障害者への対応、補助の方法	男性	70 歳以上
部落地名総鑑事件を公の立場で調査、研修を担当しましたので同和問題については少々理解しております。	男性	70 歳以上
自分の地域には同和はなかったので/.../高校に行って知った。/.../同和地区には行政が出生地も産院であったり、結婚には重きをおく事ない時代を向え、感心をほじくりだしている気もする。	女性	70 歳以上
本当の人権問題を深く取り組むべきである。〇〇同和と言われる方々と〇〇取組者は同じ事。	男性	70 歳以上
障害者差別、・人権差別（同和教育）	女性	70 歳以上
何も知らない子供に同和・人権と話をすることは寝ている子を起こす様な感じもする	男性	70 歳以上
家賃の安い町営住宅は空いていても、同和地区の人しか住めないと聞いています。そういう事が逆差別になっている様な気がします	性別 NA	年齢 NA
同和地区の問題は僕達の世代ではもうすでに特に問題にはなっていないし私自身もそうでしたが、同和地区の方と事故を起こした時、過失は相手の方が大きいにもかかわらず、/.../捨て台詞と集団での訪問...	性別 NA	年齢 NA
同和地区や生活保護受給者といった、“社会的弱者”、被差別者となりやすい立場の人々の中には、“社会的弱者”をふりかざし、過剰に権利を主張する輩がいることは事実としてある。	性別 NA	年齢 NA

福祉にかかわる団体活動（同和ではない）	性別	
	NA	年齢 NA

記述した人の総数 42人
 女性 21人
 男性 17人
 性別 NA 4人

表 8 部落(Q18)

部落地域に住んでるからと偉そうに言うのがわからない。差別だといったり発言が二転三転するところがよくわからない。	女性	30 歳代
部落地区が小学校・中学校区にあったから、授業で学んだが、学んだことによって多少の理解は深まったが、本当に必要なことだったのかいまだにわかりません。	女性	30 歳代
私は関東から奈良に結婚を機に住む様になり、奈良に来るまでは部落問題など全く聞かされた記憶もなく、そういう差別は本当に無知でした。/.../何も知らない人がその地区だという事だけで判断するのは本当に差別だと思います。そしてこの事を取り上げる事でまた差別は起きると思います。	女性	40 歳代
部落出身の人を優遇するのもおかしく、差別を助長していると思う。	男性	40 歳代
差別というものは、私自身の経験から、昭和初期生まれの親からの影響が大きく部落差別、女性軽視などごく当たり前のようによく教育されてきました。	女性	50 歳代
人権問題といっても多岐にわたり（部落・男女・婚姻・格差・障害・同性愛など）、一括りに人権はどうのこうの言うのは危険である	男性	50 歳代
部落出身者の人はなぜ公務員になりやすいのでしょうか？全く同じ試験を受けて採用されるのなら納得ですが、どうも違っているようなので！。部落出身者だという事を知らないのに「部落だと思って差別してる！」と大声で怒鳴ったり攻撃的な態度をとる方々がおられます。そんな態度をするから「部落だから・・・」と言われるのではないのでしょうか。もっと冷静になって欲しいものです。逆差別です。	女性	50 歳代
部落差別は今も五條市にある。市の窓口で話しても五條市職員自体が差別をするので話をしてもダメ。部落出身と分かると学校の先生が子供に、お前は部落やからと今も言っている。	女性	50 歳代
東北で生まれ、約 20 年東京で生活し、その後関西に移ってきた者です。〈部落〉という言葉が差別語の意味をもっていることを実感しました	女性	60 歳代
人種差別、障害者差別、部落差別、財産収入差別、生命を受けた時から、本人の意思に関係なく今の境遇にありこれを全て平等にしようとする事は無理である。差別されるものと区別する者が対立して紛争が起きる。弱者は生活環境も悪く、格差が拡大し生計の維持困難となり、悪循環が起きている。何らかの公的手段をもって、弱者を救済する施策が必要だ。	男性	60 歳代

昭和 40 年半ばに奈良に来て、小学校の P T A の役員をしていたので、部落差別の問題の勉強会をよくやりました。部落の人との交流会などを盛んにした時期がありました。解消するにはまだ百年はかかると言われていました。奈良に来て初めて部落差別を知ったという不勉強です。子供が成長してから部落差別のことなどすっかり忘れていました。このアンケートでまだ取り組んでいらっしゃるのだと知りました。あれから 50 年経っていますが、まだまだなのでしょうか、身の辺りに人権問題の話聞くことがないので、何も分らず過ごしています。すみません。	女性	70 歳以上
自分には差別観はなく長年の友人もいる。しかし社会では現実に差別は生きている。特に結婚など。結婚の時、絶対反対はできないが、部落の人でないことを確認するし祈っている。社会全体で差別がなくなって欲しい。	男性	70 歳以上
部落差別は許せない現実ではあるが、一昔前は、行政の給付、助成を一人占めにして、実際に貧窮している一般被差別家族に行き渡っていない事象も見られた噂も再々耳にしたが、行政も見守る必要あり。	男性	70 歳以上
人権問題、部落問題に余りこだわらない時代とはいえ、高齢者はいまだそれを言う。取り立てて人権問題を言いすぎます。自然体にしてこだわらないように若い子どもに不信を持たせないようにしていく。そうしないとこの先ずっとずっとこの問題は解決しないと思います。難しい問題ですね。	女性	70 歳以上
私の生まれ育った奈良という所は廻りに部落が多かったので両親から近づいたら怖いと言われて育ってきましたが今はそんな気持ちは薄れてきました。	女性	70 歳以上
部落問題（差別）の現状と学校での啓発のとりくみ。	性別 NA	年齢 NA
昭和 30 年頃、部落差別糾弾（毎日約 1 時～ 2 時間）の現場を見ました。/.../差別しなくとも差別したと極めつけられました。	性別 NA	年齢 NA

記述した人の総数 17 人
女性 10 人
男性 5 人
性別 NA 2 人

関心のある人権問題・取り組んでみたいこと（問 19）

1. 頻出語から見える傾向

1-1 頻出語

問 19 で「その他、人権問題について県に対する提案、意見があれば、ご自由にお書きください」ときいたところ 220 の記入があった（「なし」「ありません」等は省く）。頻出語 100 は表 9 の通りである。

表9 Q19抽出語リスト

問題	104	良い	14	積極的	9	強制抽出した語	使用しない語
差別	80	逆	13	地区	9	人権問題	思う
人権	80	見る	13	認める	9	同和地区	
人	70	個人	13	部落	9	同和問題	
行政	51	市	13	委員	8	奈良県	
教育	49	支援	13	活動	8	生活保護	
必要	42	住民	13	願う	8	積極的	
同和地区	39	働く	13	在日	8	障害者	
社会	35	平等	13	仕事	8	外国人	
自分	30	家庭	12	持つ	8	高齢者	
子供	29	感じる	12	場合	8		
知る	28	特に	12	色々	8		
県	27	保護	12	人達	8		
言う	24	お願い	11	世の中	8		
考える	24	外国人	11	前	8		
多い	24	学習	11	相談	8		
アンケート	23	行う	11	大きい	8		
受ける	21	住む	11	調査	8		
学校	20	障害	11	特別	8		
意識	19	方々	11	奈良	8		
取り組む	19	違う	10	内容	8		
出来る	19	子ども	10	難しい	8		
大切	19	職員	10	介護	7		
今	17	視	10	義務	7		
人間	17	世代	10	結果	7		
同和	16	生活	10	結婚	7		
奈良県	16	税金	10	厳しい	7		
障害者	15	聞く	10	公務員	7		
生活保護	15	意見	9	行く	7		
地域	15	過剰	9	思い	7		
同和问题	15	弱者	9	施設	7		
優遇	15	主張	9	若い	7		
権利	14	少ない	9	取る	7		
				守る	7		

…個別課題
 …「共起ネットワーク」で目立った単語(後述)

1-2 頻出語の共起関係

次に、ここにリストアップされた語による「共起ネットワーク」を描いたものが図 1 である。これは集計単位を「回答者ごと」として、共起の程度が強い語（各回答者の自由回答の中で、同時に登場している語）どうしを線で結んだものである。なお、KH-Coder のデフォルトでは、最もつながりの強い 60 本の線が描かれる。

図中の数値は、共起の強さを示す Jaccard 係数である。Jaccard 係数は、とても簡単な係数で下記のように計算される。

$$[\text{語 A と 語 B を共に含む文書数}] \div [\text{語 A または 語 B を含む文書数}]$$

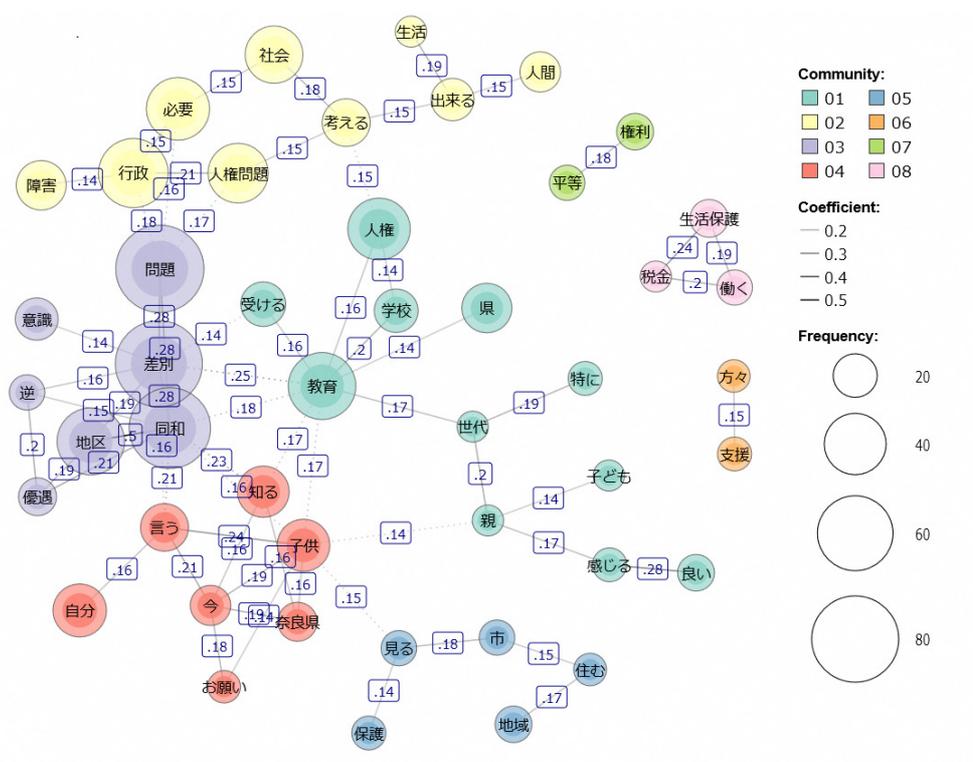
要するに、A と B の 2 つの語のいずれかを含む文書の中に占める、A と B の両方を含む文書の割合である。文書は、各回答者ごとを単位としてみている。

また、円どうしの位置の近さには意味はない。出現数の多い語ほど大きい円で描画されている。

図 1 をみると、例えば「同和—地区」や「同和—差別」「差別—問題」、「学校—教育」、「行政—人権問題」などの共起が目立つが、これらは何か特徴的な傾向を示しているとはいえない

い。むしろ「生活保護—働く—税金」や、「逆—差別—優遇」などの共起が気になるところである。

図1 Q19 頻出語の共起ネットワーク



2. 個別課題に対する意見

さらに、人権上の個別課題の別に、回答者の意見をみたい。

2-1 こども (Q19)

「子ども」「子供」を含むコメントは、表10の通り、25あった。女性の記入が圧倒的に多い(女性19, 男性4, 性別NA2)。

・内容をみると、「同和問題」に関わる意見が6ある(これらは「同和地区」「同和」の項で取り上げることとする)。

・「遊びの保障」「人権意識が向上する環境」「障害や不登校の子どもに対する取り組み」「母子家庭の貧困解消」など、多様な要望がある

・「教育」についての記入が7ある。内訳は、道徳教育の必要性(2)、教育(家庭、大人と子、等)の必要性(3)、「学校や地域での反差別教育の必要性」(1)のほか、教師の偏った考え方が子どもに伝わらないよう、「県として人権問題の考え方をとりまとめ、教員へ指導を行ってほしい」(1)である。

・とりわけ、「子どもに対するせいさく(政策)が多すぎる」とか「仕事をしないで家庭で子育てしている人は/…/育休手当がない」とか、政策が「子供がいてる人ばかり見て」といった意見(2)は、注意をひく。子どもあるなし、働きながら子育てをしているか否か、によって、女性同士が不平等感をもっていることがわかるからである。

表 10 子ども (Q19)

子どもに対してのせいさくが多すぎる気がする。20～30代でもなかなか給料が少なくて辛い人もいる。非正規のまま正規にもなれない現状を改善。子どもを産んだらいいみたいな空気がイヤ。	女性	20 歳代
小学校、中学校でわざわざ同和問題を取り上げては、優遇されて当たり前！糾弾会をすれば勝ちみたいな教育はいかかなものかと思う。/.../この先こんな矛盾した思いをする子供達がいなくなる教育であってほしいと願います。	女性	30 歳代
子供の権利がもっと守られるべきだと思います。子供が安全で良い環境で成長出来るように取り組んで頂けたらと思います。	女性	30 歳代
学校教育が先生の思想によって偏っていることがある。その場合、何もわからない子供たちは先生の思想をまともに受け入れてしまうので、県として人権問題の考え方をとりまとめ、教員へ指導を行ってほしい	女性	40 歳代
同和地区で住んでおられる一部の方達は税金の無駄になっていると思う。働きながら生活保護を受給されているため、もっと厳しくする必要があると思う/.../親の考え方が負の連鎖を断ち切れなくしているのが、子供たちの将来が望めない。	男性	40 歳代
障害者差別解消法の合理的配慮(発達障害)について/.../私の住む市は、診断書で医師の指示があっても、保護者が希望してもついてももらえないといった市町村格差があります。また、不登校生徒の保護者が市の教育委員会に相談してもダメで/.../私の住む市は、困難をかかえた子供が教育を受ける事に対して、とても厳しい環境にあるように思います。数キロ先の別の市	女性	40 歳代
子供達に冒険広場を作ってあげて欲しい。子供達を遊びに集中し、遊びを確保してあげて欲しい。	女性	40 歳代
祖父母、親、子ども、3世代で参加できるような人権啓発のイベントがあるとよいと思う (年代別の意識の)	女性	40 歳代
最近行政の長などが、意見の異なる相手を敵に仕上げて罵ったり、それで人気取りをするような傾向がある/.../このような状態で子どもたちに人権意識の向上は難しい。奈良では他者との共生(寛容)の風土を形成する形成するように行政にも頑張ってもらいたい。	男性	40 歳代
子供に身体的、知的の障害がある。他人は、自分と直接関係ないからか見て見ぬふりをしてくれるが、祖父母が近所の目があるので連れて来ないでと言う。差別のない社会だったら孫を恥ずかしく思わないのでは。	女性	50 歳代
仕事をしないで家庭で子育てしている人は税金を使うことなく、自分で子育てして社会に貢献しているにも関わらず育休手当がない/.../欲しくても子供がいない人もいる。子供がいてる人ばかり見ての政策は？	女性	50 歳代
道徳教育の減少を感じる。子供のころに学んだ道徳が人を形成する。	女性	50 歳代
ケータイやスマホによるいじめや、昼夜逆転、ネトゲ(ネットゲーム)廃人など、子どもの人権や健全育成が阻害されている。/.../保護者等には厳罰を含めた取り組みが必要/.../今の家庭で子どもの人権、健全育成ができないなら、強制保護できるように施設を増やしてほしい。	男性	50 歳代
自分自身が同和地区の方と結婚する事でかなりの反応をされました。/.../今、自分の子供たちが結婚する年齢になって、もしその事で相手の方から何か言われる等あった時、どう対応できるだろうと悩みます。	女性	60 歳代
奈良県へ転居してから同和問題を知りました。差別はいけない事ですが、私は仕事をする時に規則に沿って手続きをして頂く様をお願いしたら、理不尽な理由を並べ立てその人だけを特別扱いする様に要求され、最後に「あなたにも親子供・家族がいるのでは。今に見てなはれ！」と脅し文句を言われて電話を切る	女性	60 歳代
家がなくなり無職になり賃貸を探す事になり、その時初めて人権問題にぶつかりました。当方子供がないのでどこでもよいと思い...	女性	60 歳代

子供の頃親に「〇さんとはあそんではいけない」と言われた事を思い出します。/.../自分の子供にはその言葉はいつてはいけないと思っています。	女性	60 歳代
差別を見抜き、自己的人権を守り、差別をした人間に対して断固として抗議のできる子どもたちに成長する様に学校教育や地域でのオルグをお願いしたいです。	女性	60 歳代
母子家庭の貧困をどうしても解消しなければなりません、お母さんも子供も疲れ切っています、安心して暮らせるようにお願いします。	女性	70 歳以上
子供の頃から教え、大人も共に学ぶ事。	女性	70 歳以上
まず、親の教育ですね。子どもは保育所、幼稚園等でしっかり教育して下さい。	女性	70 歳以上
子供の小学校のPTAでそういった施設の見学、そういわれる地区の見学、住民の懇談会に出席したことがある。そんな地道な努力を行政にもしていただいて人権問題の一般の人々への浸透をはかってもらいたい。	女性	70 歳以上
将来の奈良県、日本を支え中心となっていく今の子供達の人権、すなわち幼児児童の虐待の実態について徹底して確認し、解消する手当を講じ、大切に素直に育てていき、健全な大人になるよう真剣に取り組むようお願いします。	男性	70 歳以上
一番に、子供の頃からの道徳教育時間を沢山もうける事を切に願います。道徳の時間が少なくなってから、衝動的な命に関わる事件が多発しております。	性別 NA	70 歳以上
差別などの教育を子供に家庭内でするのが一番だと思います。	性別 NA	年齢 NA

記入総数 25 人
女性 19 人
男性 4 人
性別 NA 2 人

2-2 障害者 (Q 19)

「障害者」「障害」「障がい」を含む意見の数は 16(女性 8, 男性 5、性別 NA3)。

・内容としては、「学校の選択」「就労」「居場所」「発達障害への合理的配慮は啓発」「学習会」「支え合う仕組みづくり」等への意見がある。

・「生活保護を受けている」障害者が、「働けるのに楽だからと言って働かずタバコをすったり、旅行に行ったり」しており、まじめに働き税金を払うことが腹立たしい、とか、障害者が「非差別者(ママ)だから、必ず弱者とはいえない」といった、ねじれた意見も見られる(2)。

表 11 障害者 (Q19)

障害のある人が自分の特性に合った学校を選べるようになれば、養護学校の受け入れが少なく、肢体不自由、高等養護学校がとくに。	女性	30 歳代
障害者、特に発達障害者の啓発をして欲しいと思います。(社会職場における)軽度発達障害と思われる方々について、努力していないのか、出来ないのか、周りも自分も気付かずに傷ついている人達がいるかと思っています	女性	40 歳代
障害者に対する理解がしてもらえるように取り組んで欲しい。障害者スポーツに対しても、行政の方がもっと広く理解し選手育成などにも力を入れて取り組んで欲しい	女性	40 歳代

障害者差別解消法の合理的配慮(発達障害)について、例えば、公立幼稚園についてです。同じ奈良県なのに〇〇市は診断書があれば、支援員の先生がついてもらえるけど私の住む市は、診断書で医師の指示があっても、保護者が希望してもついてもらえないといった市町村格差があります。	女性	40歳代
小学校低学年の頃から、障害者や社会的弱者について教育・交流などを通して、実体験させ、差別する心や意識を持たないようにできればいいと思う。	男性	40歳代
同和問題、外国人問題、障害者問題、同性愛問題E T Cひとくりに「人権問題」にしてしまう行政の考え方に問題があるのでは？	男性	40歳代
私は以前、障害者・児の関わる所で働いていました。生活保護を受けている方が多くおられたのですが、/働けるのに楽だからと言って働かずタバコをすったり、旅行に行ったり/私達のように、まじめに働いている者が税金を払っている事に対して、腹立たしく思います。	女性	50歳代
障害者が一般就労できる社会の幅を広げて頂きたいと思います。	女性	50歳代
息子にアンケート調査を頂きましたが、息子は身体障害者1級、療育手帳Aの為アンケートに答える事は出来ません。/息子が障害になって初めて世の中での居場所の無さを日々知りました。/施設/、日常レクリエーション出来る所が不足している。/手続きの為、奈良市役所の障害福祉課へ行きますが/とても不便です。/ネットが普及して便利な世の中になっているのだから/機械で市役所と行政センターを繋げるような仕組みはできないのでしょうか？	女性	50歳代
非差別者だから、必ず弱者とはいえない。以前の職場に障害者の方がいましたが、余りにも無法が目立ったので怒りました。	男性	50歳代
人権問題や障害問題の研修や学習会は行政が積極的に行うべきである。/行政が自治会や民生委員に積極的に呼びかけ、スケジュール他にする。	男性	70歳以上
いずれ誰もが全員が障害者になる事をもっと明確に示し打出して、ささえ合う地域の仕組み作りを行政には考えて欲しい	男性	70歳以上
行政や国が理想を先にかかげると障害のある親が不安から自分の思う通りにいかないところを罵倒してくることがあり、■へいする。	性別 NA	40歳代
障害ではなく、「障がい」という単語にしてほしい。	性別 NA	年齢 NA
意識調査での同和地区だの、障害がある、刑を終えた人などわからないし、気にして話をしたりすることはないです	性別 NA	年齢 NA

記入総数 16人
女性 8人
男性 5人
性別 NA 3人

2-3 高齢者 (Q19)

「高齢者」「高齢」「シルバー」を含む意見の数は6(女性2、男性3、性別NA1)。

- ・内容をみると、「同和問題」に関わる意見があるが(1)、「同和問題」の項で取り上げることとする。
- ・その他は、介護に関わる意見(2)、イベント広報についての意見(1)を含め、高齢者に関する施策への要望がまとまっている。

表 12 (Q19)

同和であったり、主張する人たちに色々としすぎでは、税金はみなが出すものであり、一部のものに支出するのではなく、みな平等につかうものである、特定の政党に加入すれば生活保護から、老人ホームの入居など優遇されるのはおかしいと思うし、なくしてほしい。	男性	40歳代
---	----	------

高齢者だけの世帯が私の地域にも増えています。家から出ない人が多くなっているのをわざわざイベントなどに参加しようと思わないので、毎月の県の広報や市の広報に載せてみてはいかがでしょうか	女性	60 歳代
高齢者になりつつあるので、質の良い介護が受けられる様をお願いします。介護施設内での暴力等は御免です。	女性	60 歳代
高齢者対策、向上をお願いします。	男性	70 歳以上
シルバー活動等に社会的雇用援助は大変結構なことです、それぞれのグループになかなか参加できないときかされてる。そのグループの排他的な考えがあると思う(年寄りのひや水)。	男性	70 歳以上
高齢者が暮らしやすい社会になるために、介護教育を実技演習を含め、中学生くらいから行った方がよい。身近な人から介護が受けられれば、高齢者の幸福にもつながるし、介護療養費の削減にもつながる。介護を特別なものと考えないような社会づくりが必要だと思う。	性別 NA	40 歳代

記入総数 6人
女性 2人
男性 3人
性別 NA 1人

2-4 女性 (Q19)

「女性」「女」を含むコメントは5(女性4, 男性1)。

- ・ 内容は、労働に関わるもの(2)などである。

表 13 女性 (Q19)

男女の平等はもちろんですが、子供の権利がもっと守られるべきだと思います。	女性	30 歳代
子どもを産んだらいいみたいな空気がイヤ。少子化は産まない女性が悪いのか?	女性	20 歳代
女性が働きやすい様にしてほしい。特に、奈良県内で、子育てママが働きやすい様にしてください。大坂まで行かないと職がない。	女性	40 歳代
明らかに理不尽な差別も多いのは確かで改めていかなければいけないが、差別と平等の基準が分からない問題や、誰がその基準をどの視点から見て考えるのかわからない事が多い.../例えば男女平等というけど男性と女性には違いがある。同じにはなれないことがある。	女性	50 歳代
女性の登用、公務員は男女比率を 50 対 50 にすべきだと思う、公務員管理職の男女比率についても 50 対 50 にすべきだと思う。	男性	60 歳代

記入総数 5人
女性 4人
男性 1人

2-5 外国人 (Q19)

外国人に関わるコメント(「在日」「外国人」を含む)は12(女性5, 男性7)。

- ・「生活保護廃止、在日の県外追放」「補助金廃止」、権利主張をするなら「日本人になってから」といった言説、逆差別言説は20-40歳代に見られる。
- ・「在日」「同和(部落)」をセットにしているコメントが目立つ(4)。

表 14 外国人(Q19)

在日の生活保護等を廃止すべき。在日の県外追放。行政が立ち入らない事である。	女性	20 歳代
周囲で外国人と結婚する人が増えて、私自身問題意識も高くなって来た.../米国で米国籍を取る人が多いのに、在日の皆さんは日本国籍を取って日本人になる人が少ないのは何故なのか	男性	30 歳代

同和地区の人も在日外国人も同じ権利をと言いついで、逆に差別を生んでいる場合も多いように思う。	男性	30 歳代
平等にと言うなら、同和地区や在日の方の施設（学校など）への補助金など特別優遇をやめ /.../永住するなら国籍から日本人になって、そこから権利を取得してほしいと思う	女性	40 歳代
アンケートに出ている在日韓国人や障害者、必ずしも全員が差別されているわけではないと思います。要は人の問題だと思います	女性	40 歳代
在日や部落など、団体として見る又は付き合うのではなく、各個人として見る、又は付き合い、 /.../個々がより良い関係を築いていけば差別の言葉や意識は無くなるのではないのでしょうか。群れる事も原因のひとつではないのでしょうか。	女性	40 歳代
人権問題を論ずる場合、自身の人格を整え品格を備える学習を家庭で行う必要があるように思います /.../外国人も日本人も同様です。	男性	40 歳代
外国人の人権についてですが、従来は朝鮮・韓国籍の特別永住者などの人権 /.../がメインの問題だった /.../近年では、ベトナムやフィリピン、ネパール国籍の外国人住民が増えています。在留目的や国籍の変遷に応じて外国人住民の人権を考える必要があると思います。	男性	50 歳代
数年前から東南アジアの国々から研修生として 2~3 年企業で働く外国人が増えてきましたが、労働条件が途中厳しくなったりなったり、(時間外労働時間の増加等) /.../労働局に、外国の人々を雇っている企業の監視を強化して頂きたいです	男性	50 歳代
今回のアンケートで同和地区を知らない人も外国人に対して違和感のなかった人も土地の価値が下がるのか・・・などと感じてしまうのではないかと思います。	女性	50 歳代
同和問題、外国人問題、障害者問題、同性愛問題 E T C ひとつくりに「人権問題」にしてしまう行政の考え方に	男性	60 歳代
小生は韓国人、中国人に対して嫌悪感を持っている、それは彼の国が異常な反日であるから。	男性	70 歳以上

記入総数 12 人
女性 5 人
男性 7 人

2-6 同和問題 (Q 1 9)

まず、「同和地区」「同和問題」「同和」を含むコメントは 33 (女性 22、男性 8、性別 NA3) あった。女性の記入がかなり多い。

・内容については、とりわけ「優遇」(優遇、利権、特権、過剰な支援、過剰な要求…等)に関わるコメントが過半数を占める

・「同和問題についてあえて教えないほうがよい」という意見は 20~40 歳代の女性にまともまっている (4)

「部落」を含むコメントは 9 (女性 3、男性 4、性別 NA2)。

・内容については、「優遇」(優遇、特権、お金のかけすぎ…等)に関わるコメントが (4)ありまともまっている。

・次に、在日・部落を「個人として見る」べきであり「群れる事も(差別の)原因」、とか、「都合のよいときだけ差別と言」っているとか、差別が「あるのは地区の方の心の問題」など、差別される側に問題がある、というコメントがまとまっている(3)。

表 15 同和 (Q19)

奈良県は特に同和地区を優遇するような傾向がある様に思います。若い世代は同和地区出身者だからと誰かを差別する事は無いけれど、小・中学校での同和地区に関する教育のせいで変に意識してしまいます。	女性	20 歳代
各市町村での人権・差別について教育方針の違いがあるかと思います。例えば小学校地域でも同和地区がある所の学校は教育、携わっていますが、ない場所に関しては、あまりされていない...市町村での取り組み方を統一して欲しい...県側からも各市町村に伝えて欲しい	女性	30 歳代
親の世代は、その学習内容も違ったので 50~60 代の方との考えは違う事があります。特に同和地区についての思いは違うので、それを感じる度に悲しくなります。	女性	30 歳代
同和地区出身者は差別されていると言われているが、「同和地区」だから恩恵を受けられている.../自らを卑下して、同和をいいように利用している。/.../同和地区指定を無くせばいい。そうしたら真面目に働くのではないか。	女性	30 歳代
臭いものにふたするわけではないが、同和地区に関しては知らぬ人も増えてきている今、敢えて教育で教えない方が差別はなくなる	女性	30 歳代
年の重ねた世代の人の方が差別していると思います。若い人はあまりわからず育っているので、逆に同和教育の授業で知らされたので、知らなければそのままわからずにすみしました。	女性	30 歳代
同和地区問題等は昔から水平社などが尽力しているがなかなかなくなる。これは人間の本質的な問題で、自分よりも弱者を見つけて優越感に浸る傾向がある。	男性	40 歳代
差別は悪だ！同和地区の人も在日外国人も同じ権利を！と言わず、逆に差別を生んでいる.../平等にというなら、同和地区や在日の施設(学校など)への補助金など特別優遇をやめ、同和地区も解散し街を整備して、誰でも住める地区へと改善すべきだと思う。	女性	40 歳代
同和地区で住んでおられる一部の方達は税金の無駄になっていると思う。	男性	40 歳代
子供の頃から、住んでいた市のとなりの市に大きな同和地区があったので、人権教育がさかんだった。私は知らなければあそこが同和地区なのは一生わからなかったし、差別もしないと思うのに何故、わざわざ子供の私達にそれを教えるのだろうと、疑問でしかありませんでした。	女性	40 歳代
今回のアンケートで同和地区を知らない人も.../土地の価値が下がるのか・・・などと感じてしまうのではと思います.../差別があることを強調するのは残念です。	女性	40 歳代
清掃局の問題を改善せず、このアンケートをとりに来ている。行政の態度、理解しがたい。	男性	40 歳代
同和利権がこの時代に存在するのであれば問題だと思う。	男性	40 歳代

第2小学校で1学級内の生徒の人数が違ったり、設備の充実に差があったり、同和地区の方が優遇されていると聞きます。市職員の問題など、同和地区への差別に関しては過剰な対応は必要ないと思います	女性	50歳代
同和地区・・・と騒ぎすぎるので同和地区がなくなると思う	女性	50歳代
同和出身の方が結婚がうまくいかない知り、出身をさぐるために、「探偵」が公然認められている地域かと思うと、歴史のある県ならではの問題かと思いました。	女性	50歳代
自分自身が同和地区の方と結婚する事でかなりの反応をされました。地方出身の私としてはかなりショックを受けました	女性	60歳代
長く続いている同和地区住民への支援が(特別待遇)いつまでたっても同和問題(差別)を継続している。/.../話し合いがこじれた時、同和地区住民はまず権力者を代理人とし、威嚇しそれでもひるまない場合、団体でいやがらせ行為を行ってくる/.../過去の差別、迫害の事実だけを伝えるのではなく、最近50年前以降の同和地区住民のやってきた事もきちんと伝えて根本の人権を尊重する教育を徹底してほしい。	男性	60歳代
同和地区の人達に行政は優遇し過ぎだと思います。	女性	60歳代
過去の事に税金を使わず未来に向けてお金を使って欲しいと思います。同和地区の問題ですが過剰な助成等で逆に疎まれるケースもあります。	女性	60歳代
同和地区に引越してきましたが、やはり全体的にモラルの低さを感じます。犬の散歩の犬の散歩のマナー、ポイ捨てなど、前のところではありえない事が時々あります。それと、人権文化センターとわざわざ人権と名前を付ける必要があるのでしょうか。ここは同和地区ですと表わしているよう/.../嫌な感じです。	女性	60歳代
初めの家は場所的に同和地区内になっていまいましたが、最初は周囲が閉鎖的な様に思いとけこむのが少しし時間がいりましたが、生活していきますとなんとか受け入れていただき色々お世話していただき相談にもものっていただき、とっても助かりました。	女性	60歳代
同和行政に対する逆差別的保護に問題は無いですか！！税の優遇。生活保護受給者の審査厳格化など。	男性	60歳代
小学校から大学まで同和教育を受けました。大学の時には、無意識の差別が存在すると聞きました。/.../県としては色々な活動をしなければいけないことだと思います	女性	60歳代
奈良県内には同和地区と言われている地区がまだまだ多い/.../以前子供の小学校のPTAでそういった施設の見学/.../住民たちとの懇談会に出席した/.../そんな地道な努力を行政にもしていただいて人権問題の一般の人々への浸透をはかってもらいたい。	女性	70歳以上
同和問題については自分が知らないだけなのかあまり問題ではない様に思う。同和地区に過剰に支援するのは、それでいいだろうと思う。過剰支援する事によって反発も出てくると思う	女性	70歳以上
同和地区の方が生活は良いと思う。同和地区の家などとてもぜいたくしている税金の面でも優遇されている。	女性	70歳以上
同和に関しては、人によると思っている。異常に同和を言いたてて権利を過剰に要求する人もあり/.../主張する人たちに色々としすぎでは。	男性	70歳以上

同和問題の一件ですが、運動団体のメンバーから呼び出され 300 万円要求されました。/.../家族に何かあれば困ると思い従いました。	女性	70 歳以上
人権(権利)を過大に評価するくらい(傾向)ある。/.../同和の問題はあまり騒がない方が自然消滅して良い様な気がします	男性	70 歳以上
まだ同和利権がこの時代に存在するのであれば問題だと思う。同和地区の者だけに認められている特権や権利(優遇税制度)を利用して/.../権利行使するのは逆差別的行為である。自分が同和地区者であることを逆に利用していることが実際にあるので許されない。	性別 NA	年齢 NA
意識調査での同和地区だの、障害がある、刑を終えた人などわからないし、気にして話をしたりすることはないです。何も決めつけてお話などしないので、あまり抵抗なく過ごしています。	性別 NA	年齢 NA
同和地域の中にも格差が拡大して来ているように思う	性別 NA	年齢 NA

記入総数 33 人
女性 22 人
男性 8 人
性別 NA 3 人

表 16 部落 (Q19)

部落地域に優遇するシステムは廃止にするべき。	女性	30 歳代
在日や部落など、団体として見る又は付き合いののではなく、各個人として見る、又は付き合い、それぞれ個々がより良い関係を築いていけば差別の言葉や意識は無くなるのではないのでしょうか。そして、群れる事も原因のひとつではないのでしょうか。	男性	30 歳代
人権の侵害や差別、確かにそれをするのは良くないと思うけれどされていると言う人も私は〇〇だから(部落だとか)自分で言ってひくつになっている所もあると思う。都合の良いときは差別だと言って悪くなったらしかたない〇〇だからはずいいですよね。	女性	30 歳代
部落問題等についてはむしろ差別的になっており、過剰な特権を持ち過ぎているのではないかと。真の社会的弱者については社会や行政として支援すべきであるが、/.../適当な理由をつけて自らを社会的弱者のように装っているだけで多くは努力不足や怠け等の問題だと思います。そのような人間を支援するために税金を払っている訳ではなく、チェック機能を厳しくする必要があると思います。	男性	30 歳代
清掃局の問題を改善せず、このアンケートをとりに来ている。行政の態度、理解しがたい。	男性	40 歳代
部落差別対策にお金をかけすぎ、・議員が人権問題を利用、・人権問題を大きく取り上げているなら無くならない。	男性	50 歳代
部落の人達を優遇する事が逆差別だと思う。	女性	60 歳代

昔のように町の名前を変える。今は地下にもぐって言葉を変えて差別をしている（例 部落をややこしい所だと言う）。	性別 NA	年齢 NA
部落差別は回りで聞いた事がないですし、もはや過去のものになってきているのではないのでしょうか。あるのは地区の方の心の中の問題になっていると思います。僕等の世代で必ず無くす事が出来ると思うので年配の方から若い方達との対話をしっかりする事が大事だと思います。	性別 NA	年齢 NA

記入総数 9人
女性 3人
男性 4人
性別 NA 2人

3. コーディング

さらに、特定の共通テーマを表すと考えられる語をグループ化し、新たなラベルを付与すること（「コーディング」という）で、データの特徴を要約的に把握しようと試みた。具体的には、一つひとつ文脈を確認しつつ、下記のようにコーディングした。すべての語をコーディングしたわけではなく、共通のテーマを示していると考えられる語どうしをグループ化し、コード（ラベル）を付与したもので、その判断は阿久澤による。また、一語でも、その語が登場する文書数（「回答者」単位）がまとまっていたものは、その語をそのままコード（ラベル）にした。下記では、「障害」「人権」などがそれにあたる。

<u>元の語</u>		<u>新たなコード（ラベル）</u>
「同和」「部落」	➡	*同和問題
「外国人」「在日」	➡	*在日外国人
「障害」	➡	*障がい者問題
「子供」と「遊び」	}	*子どもの人権
「子供」と「遊び」 身体的、知的の障害		
「子供」と「貧困」		
「子供」「子ども」の語と「人権」「権利」		
「女性の登用」「男女の平等」「子育てママ」	➡	
「少子化」と「女性」	➡	*女性の問題
「生活保護」「保護要請」	➡	*生活保護
「人権」	➡	*人権問題
「差別」	➡	*差別
「取り組む」（「取り組む自身」）	➡	*取り組みへの期待
「行政」	➡	*行政
「奈良」「県内」	➡	*奈良県への関心
「学校」	➡	*学校
「研修」「学習」	➡	*人権啓発・学習会
「優遇」「特権」「逆差別」「過剰な反応」	}	*優遇・特権・逆差別
「過剰な助成」「過剰支援」「過剰な支援」		
「頼りすぎ」「同和をAND利用」		
「同和地区だから恩恵」		

各コード（ラベル）が現れる文書数と、その比率を示したものが、表 17 である（一つの文書に、複数のコードが登場するものもあるので、比率の合計は 100%を超える）。

「差別」「同和問題」に関わるものがそれぞれ 50 を越え、最もまとまっている。人権問題に対する「取り組みへの支持」を表明するものが 18 ある一方で、人権施策が「優遇,特権,逆差別」だと批判する者も 16 あり、注意をひく。

表 17 各コードの出現する文書数

Codeの集計結果(単純集計)	文書数	
総数	220	
コード無し	74	33.60%
*差別	62	28.20%
*同和問題	52	23.60%
*行政	39	17.70%
*人権問題	33	15.00%
*取り組みへの支持	18	8.20%
*障がい者問題	17	7.70%
*優遇,特権,逆差別	16	7.30%
*学校	15	6.80%
*生活保護	12	5.50%
*在日外国人	10	4.60%
*子どもの権利	8	3.60%
*人権啓発・学習会	8	3.60%
*奈良県への関心	8	3.60%
*女性の問題	5	2.30%
*高齢者問題	4	1.80%

上記のコードの出現数を、年代層別・性別のクロス集計表にしたものが表 18・19 である。これをみると、年齢別では、「在日外国人」に関わるコメントは 10～50 歳代に、「生活保護」に関わるコメントは 40～60 歳代に相対的に多くなっていることや、性別では、「同和問題」「差別」「学校」に関わるコメントは「女性」に、「行政」に関わるコメントは「男性」に多いなどの傾向がわかる。

表18 年代層別

	*在日外国人	*同和問題	*人権問題	*優遇・特権・逆差別	*差別	*障がい者問題	*取り組みへの支持	*生活保護	*子どもの権利	*人権啓発・学習会	*高齢者問題	*女性の問題	*行政	*奈良県への関心	*学校	ケース数
10・20歳代	1 (6.25%)	2 (12.50%)	2 (12.50%)	1 (6.25%)	3 (18.75%)	1 (6.25%)	1 (6.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	1 (6.25%)	2 (12.50%)	0 (0.00%)	1 (6.25%)	16
30歳代	2 (8.33%)	11 (45.83%)	5 (20.83%)	4 (16.67%)	13 (54.17%)	1 (4.17%)	2 (8.33%)	1 (4.17%)	1 (4.17%)	2 (8.33%)	0 (0.00%)	1 (4.17%)	2 (8.33%)	1 (4.17%)	4 (16.67%)	24
40歳代	3 (8.57%)	10 (28.57%)	8 (22.86%)	2 (5.71%)	11 (31.43%)	6 (17.14%)	3 (8.57%)	3 (8.57%)	3 (8.57%)	0 (0.00%)	1 (2.86%)	1 (2.86%)	9 (25.71%)	3 (8.57%)	2 (5.71%)	35
50歳代	3 (9.68%)	5 (16.13%)	3 (9.68%)	2 (6.45%)	8 (25.81%)	5 (16.13%)	3 (9.68%)	2 (6.45%)	2 (6.45%)	3 (9.68%)	0 (0.00%)	1 (3.23%)	5 (16.13%)	2 (6.45%)	1 (3.23%)	31
60歳代	1 (2.33%)	12 (27.91%)	8 (18.60%)	3 (6.98%)	11 (25.58%)	0 (0.00%)	4 (9.30%)	4 (9.30%)	0 (0.00%)	1 (2.33%)	2 (4.65%)	1 (2.33%)	5 (11.63%)	2 (4.65%)	4 (9.30%)	43
70歳以上	0 (0.00%)	7 (12.50%)	6 (10.71%)	3 (5.36%)	9 (16.07%)	2 (3.57%)	5 (8.93%)	1 (1.79%)	2 (3.57%)	2 (3.57%)	1 (1.79%)	0 (0.00%)	16 (28.57%)	0 (0.00%)	2 (3.57%)	56
年齢NA	0 (0.00%)	5 (33.33%)	1 (6.67%)	1 (6.67%)	7 (46.67%)	2 (13.33%)	0 (0.00%)	1 (6.67%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	1 (6.67%)	15
合計	10 (4.55%)	52 (23.64%)	33 (15.00%)	16 (7.27%)	62 (28.18%)	17 (7.73%)	18 (8.18%)	12 (5.45%)	8 (3.64%)	8 (3.64%)	4 (1.82%)	5 (2.27%)	39 (17.73%)	8 (3.64%)	15 (6.82%)	220
カイ2乗値	7.959	14.155*	5.164	3.641	15.712*	13.515*		1.63	4.458	5.946	7.442	3.738	3.359	12.181	6.562	5.716

表19 年代層別

	*在日外国人	*同和問題	*人権問題	*優遇・特権・逆差別	*差別	*障がい者問題	*取り組みへの支持	*生活保護	*子どもの権利	*人権啓発・学習会	*高齢者問題	*女性の問題	*行政	*奈良県への関心	*学校	ケース数
女性	4 (3.74%)	31 (28.97%)	17 (15.89%)	10 (9.35%)	34 (31.78%)	9 (8.41%)	11 (10.28%)	5 (4.67%)	5 (4.67%)	4 (3.74%)	2 (1.87%)	4 (3.74%)	15 (14.02%)	3 (2.80%)	11 (10.28%)	107
男性	6 (6.52%)	16 (17.39%)	14 (15.22%)	5 (5.43%)	20 (21.74%)	5 (5.43%)	7 (7.61%)	6 (6.52%)	3 (3.26%)	4 (4.35%)	1 (1.09%)	1 (1.09%)	23 (25.00%)	5 (5.43%)	3 (3.26%)	92
性別選択せ	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	2
性別NA	0 (0.00%)	5 (27.78%)	2 (11.11%)	1 (5.56%)	8 (44.44%)	3 (16.67%)	0 (0.00%)	1 (5.56%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	1 (5.56%)	0 (0.00%)	1 (5.56%)	0 (0.00%)	1 (5.56%)	18
合計	10 (4.55%)	52 (23.64%)	33 (15.00%)	16 (7.27%)	62 (28.18%)	17 (7.73%)	18 (8.18%)	12 (5.45%)	8 (3.64%)	8 (3.64%)	4 (1.82%)	5 (2.27%)	39 (17.73%)	8 (3.64%)	15 (6.82%)	220
カイ2乗値	1.989	4.775	0.812	1.457	6.099	3.017	2.539	0.503	1.158	0.929	1.741	2.106	6.82	1.853	4.116	

おわりに

●調査項目の検討等について

本調査を実施するにあたり、調査項目を専門的、多角的に検討するため、奈良県人権施策協議会に「人権に関する県民意識調査」部会を設置いただき、有識者に検討を行っていただいた。

また、報告書第1部及び第2部を作成するにあたり、ご助言をいただいた。

[部会委員]

氏名	役職等
寺澤 亮一	(一財)奈良人権部落解放研究所理事長
野口 道彦	大阪市立大学大学院特任教授
阿久澤 麻理子	大阪市立大学大学院教授
竹村 一夫	大阪樟蔭女子大学副学長

(役職等は、委嘱時)

●報告書第3部について

報告書第3部については、奈良県人権施策協議会に「調査分析」部会を設置いただき、有識者に分析・考察をお願いした。

[部会委員]

	氏名	役職等
第1章～第4章	野口 道彦	大阪市立大学名誉教授
第5章	竹村 一夫	大阪樟蔭女子大学副学長
第6章～第8章	阿久澤 麻理子	大阪市立大学大学院教授

(役職等は、委嘱時)

